

3月の予定

教会委員会	10日(日)
共同回心式、信徒の会例会	17日(日)
共同回心式、受難の主日	24日(日)
復活徹夜祭、入信式	30日(土)
復活の主日、祝賀会	31日(日)



Crucifixion (Antonello de Messina, 1455)

2013年 3月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2013年3月3日

復活祭を迎える心の準備を

主任司祭 小林 陽一

3月30日(土) 聖土曜日、復活徹夜祭(午後7時から)、31日(日) 復活の主日(午前10時から)のそれぞれのミサで復活したイエス様をお迎えするには、どんな準備をしたらよいでしょうか。中和田教会の四旬節の典礼を中心にそのことを考えてみました。

1、「十字架の道行き」の参加

四旬節中、毎週金曜日午前9時30分から、中和田教会聖堂にて30分くらい十字架の道行きが行われます。この祈りをとおして、十字架を背負うイエス様を思い浮かべ、キリストの苦しみをしのびます。

2、聖木曜日のミサ(3月28日、午後7時から)への参加

主イエスが最後の晩餐の席でパンを御聖体に変え、ぶどう酒を御血に変えました。これが主キリストの晩餐のミサの始まり、出発点でした。聖変化の言葉の意味を味わいましょう。

3、聖金曜日の典礼(3月29日、午後7時から)への参加

この日はミサが無く、聖金曜日の典礼(主の受難の朗読、十字架礼拝、交わりの儀)があります。キリストが栄光の王となることが、福音朗読によって示されます。

4、「ゆるしの秘跡」を受けて、復活祭のミサへの準備をする

仕事が忙しく、会社の残業を終えて夜の9時頃帰宅するほど長く働いているような時、復活祭のミサになんとか与ろうとして、なんとか「ゆるしの秘跡」を受けることができた、こうした場合、聖霊の働きがあったと、全て終わった後で感じます。「ゆるしの秘跡」によって良心の平和、霊的な慰めを与えられます。また神との和解、教会との和解が告解によって神から与えられます。日常の罪(小罪)をできたら告解しましょう。

中和田教会の共同回心式は、3月17日(日)と24日(日)のいずれも午前9時のミサ後に実施される予定です。

お忙しい時期、まことに恐縮ですが、主の復活のお祝いをする前に、復活の主をお迎えするためにどんな準備をしたらよいかを考え、実行に移しましょう。

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
1	金		祈り(9:30~ ※) 初金ミサ(10時)	掃除
2	土		主日ミサ(18時)	※ 聖週間までの毎金曜日(1,8,15,22日)に、9:30より十字架の道行きの祈りが行なわれます。
3	日	四旬節第三主日	主日ミサ(9時)	
9	土		主日ミサ(18時)	掃除
10	日	四旬節第四主日	主日ミサ(9時)	
16	土			掃除
17	日	四旬節第五主日	主日ミサ(9時)、共同回心式	
19	火	聖ヨセフ祭日	祭日ミサ(10時)	
23	土			掃除
24	日	受難の主日(枝の主日)	主日ミサ(9時)、共同回心式	
28	木	聖木曜日(主の晩さん)	ミサ(19時)	
29	金	聖金曜日(主の受難)	祭儀(19時)	
30	土	聖土曜日(復活徹夜祭)	ミサ(19時)、入信式	掃除
31	日	復活の主日	主日ミサ(10時)	ミサ後祝賀会

典礼ごよみ(三月)

入信志願式が行なわれました

2月17日(日)
齊藤ゆかりさんの
入信志願式がミサの中で
行われました。

中和田教会共同体の皆様も
どうぞ齊藤さんのために
お祈りください。



第22回横浜地区聖歌の集いのご案内

今年も聖歌の集いの練習が始まりました。聖歌の集いとは神への感謝とカトリック信者相互の繋がりを強め、お互いの教会を知り合うという目的で聖歌隊の方や、聖歌が好きな方集まり毎年5月にミサと親睦会を行います。今年のミサ曲はグレゴリア聖歌(クム・ユビロ)にてミサを捧げます。事前に巡礼を兼ねて各教会で練習を行いますのでご心配はいりません。今年の練習は次のようになっています。ご一緒に聖歌の心に触れながらミサを捧げましょう。

— 記 —

○日時：平成25年5月26日(日) 15:00～17:30

○場所：カトリック大和教会

○練習：下記カトリック教会聖堂にて

2月 10日	二俣川教会	14:00～17:00
3月 3日	保土ヶ谷教会	14:30～17:00
4月 14日	戸塚教会	14:30～17:00
4月 28日	中和田教会	14:30～17:00
5月 12日	戸部教会	14:30～17:00
5月 26日	大和教会	15:00～17:30(本番)

○参加申し込み 聖歌の集い連絡担当 大宮絢子まで

2月10日、第1回目(二俣川教会)の練習の前に、
グレゴリオの家のSR石川による
グレゴリア聖歌の講習会がありました。



(大宮 絢子)

『信徒の会』岩淵 英介 新会長の挨拶

信徒の会も発足後丸2年経ちました。これまで二年間小野会長、岩崎副会長で信徒の会をもり立ててきて下さいまして有り難うございました。今回、小野さんの後を受けまして私が会長をお引き受けすることとなりました。皆様宜しくお願い致します。

ご承知のように信徒の会は、中和田教会の信徒の方々の親睦を深めるために、特にあらたまった形式もなく、会費やオブリゲーションもなしに、自由に集まって楽しくおしゃべりをする場を作ることが目標でした。二年間、小野会長、岩崎副会長を始め皆様の熱心な取り組みで、様々なイベントも含め、この目標は達成されてきたと思います。

このような会の継続上の課題としてよくあるのが、次期委員が決まらないということだと思えます。そこで、発足の時に教会委員長を退任された方が信徒の会の会長になる、会長が男性の場合は副会長は女性になると決められました。そのルールに沿って今回私が会長をやらせて頂くこととなりました。

今年の活動を進めて行くにあたりまして、次の二つを大事にしていきたいと考えております。一つは、皆様の御意見にそって活動の枠を拡げていきたいということです。例えば小旅行を兼ねた他教会訪問、パソコン教室、手軽なミニハイキング、幅広いテーマでの話し合い、講演会などを考えておりますが、是非皆様からも色々なアイデアをご提案頂けると幸いです。もう一つは、御参加頂ける方々の幅を少しずつ拡げていきたいということです。より広く、より深くお互いに知り合って行ければ、中和田教会もますます居心地の良い教会になっていくと思えます。

面白そうなテーマの時だけでも結構ですので、ともかく、是非一度御参加してみてください。そして御意見、御要望をお聞かせ下さい。皆様と一緒に、従来のヨゼフ会、マリア会とひと味違う会に盛り上げて行ければと思っております。宜しくお願い致します。



2月17日の例会

第 32 回 春期典礼研修会「堅信への旅」に参加して

2月11日(月)に藤沢教会で開催された典礼研修会に参加しました。横浜教区典礼委員会が主催し、550名を超える多くの信徒の方々が参加されました(中和田教会からは5名)。テーマは「堅信への旅」で、3名の講師(梅村昌弘司教様、A.V.カンペンハウド神父様、国井健宏神父様)による講話と最後に「新しい福音宣教のためのミサ」が執り行われました。講話では、「堅信の秘跡の素晴らしさを味わうこと」と「青少年を堅信へ導くために」の2つの視点に重点がおかれていました。

幼児洗礼を受けた信徒にとって、堅信は軽く考えられがちです。親の信仰をもって授けられた幼児洗礼と異なり、堅信は自らが信仰を選び取って受けるものです。梅村司教様のコメントで、「たくさんの教会で堅信を授けますが、『受堅者が自ら信仰を選び取っているのかな?』の問いに全員がYesと言えないのではないかと感じる。それはもったいないこと」が印象的でした。幼児洗礼を受けた信徒にとって、堅信は入信の秘跡の完成であります。堅信を受けることは、カトリック信者として一人前になること、成人式と同意なのかなと感じました。入信の秘跡は、洗礼・堅信・聖体です。洗礼と聖体は水とホスチアで、堅信は按手と聖香油で示されますが、全ての秘跡には聖霊と神の愛が働いています。イエス様の死と復活の実りが聖霊の降臨であり、堅信ではイエス様がご自分の使命を果たしたように、自分に与えられた使命を果たすために聖霊を与えて下さっているのではないのでしょうか。

それでは共同体としてどうしたらよいのでしょうか? 堅信を受ける人達が信仰の素晴らしさを実感し、教会へ来ることの素晴らしさを少しでも感じて準備することが堅信を受けるために必要なのです。神様と個人の関わりではなく、神様と教会共同体の関わりとして、教会から足が遠のいている人達に、教会へ足を運ぶ準備をしてあげることが大切なのではないのでしょうか。信仰を深める方法として、典礼に関わることも一つでしょう。日々の典礼活動に一人でも多くの人達が関わることで、少しでも信仰を深めて頂けたらと思います。また、複数の教会が合同で堅信式を行うことが挙がっていますが、共同体で堅信を分かち合うためには単独教会で行うことを今一度考えても良いのではないのでしょうか。

堅信は「新たな信仰と出会う最後のチャンス」なのです。大切な秘跡として受堅者だけでなく共同体として聖霊のお恵みを豊かに働かせていきましょう。

最後に、堅信への指導書として現在発行されている「堅信へのみち」を改訂した「堅信への旅」が横浜教区典礼委員会より出版が予定されています。良き指導書が良き道しるべになるよう願っております。

(大宮 智)



～ 中和田の国 ～

放蕩息子の父親のような心で

— 教会で遊び学んだ子供時代 —

教会の中高生会のリーダーだけに止まらず、自治会においても青少年の指導に当たっておられる井上昭男さん(66才)にお話を伺いました。

— 洗礼のきっかけは何ですか? —

小学校六年生の頃、近所の高校生のお姉さんが教会(プロテスタント)の日曜学校に連れて行ってくれ教会は楽しいところだと思っていた。その頃母は実姉(信徒)の影響でカトリック小岩教会で洗礼を受けた。その後母に勧められ同教会の要理に通うようになり中学一年の時受洗した。

— 子供の頃、教会で体験したこと、また今の子供たちに伝えたいことはどんなことですか? —

毎週土曜日のお昼から要理の勉強をした後、助祭が野球やドッジボールをして遊んでくれたことが一番楽しかった。大学生の頃には神父のアドバイスで地域の人にクリスマスや復活祭の時にハガキを出して集まりを呼びかけ未洗者の人たちと語り合ったことは忘れられない経験だ。また養護施設の子供たちのために青年会のメンバーで創った劇で慰問したこともあった。仲間たちとその劇を考え創っていく作業は本当に楽しかった。教会の子供たちにも教会は楽しいところだということを体験を通して実感させてあげたいと思っている。

— 地域の青少年指導員とはどんな活動ですか? —

横浜市の青少年指導員として小、中学生の健全な育成を目標とする活動を引き受けて16年目になる。近年はボランティア活動も推奨されており子供たちは喜んで参加している。これを長年やってきて良かったと思うことは地域の子供たちが挨拶してくること、地域の人たちと良い繋がりができたことは私の糧になっている。

— 好きな聖句、大切にしていることは? —

結婚を決めて報告したとき神父から「どんな人にも必ず良いところと悪いところがあるが、まずはその人の良いところを見つけるようにしましょう」と言われたことを大切にしている。人を好き嫌いの感情で拒絶すると何も始まらないと思うから。聖書の中では「放蕩息子」の箇所が好きで自分もあの父親のような広い心を持ちたいと思う。

委員会だより

(文中敬称略)

△2月10日(日) 13名出席▽

■神父様の話

・2月13日灰の水曜日ー20才以上60才未満の信徒はこの日大齋、小齋を守る義務があります。大齋(1回普通食、2回食事を減らす)小齋(肉類を食べない)

・十字架の道行を(2月15日ー3月22日)毎週金曜日9:30より行います。なるべくご参加ください。

・マイ・タム神父様 雪の下教会に転任

・初ミサを挙げていただくことは難しいかもしれませんが、可能であれば2、3月に中和田教会で有志の信徒の方と交歓会を持ちたい。

■各グループからの報告

●典札(大宮)

・平日の祭日ミサについては日曜日のミサ後に神父様、典札Gがお知らせする

・聖週間の奉仕者募集ー一人でも多くの方に参加してほしい

・四旬節のゆるしの秘跡 指導司祭は小林陽一神父

・3月17日講話とゆるしの秘跡、24日ゆるしの秘跡のみ

●財務(甲斐)

・愛の献金会計から指定献金として「児童福祉の日」に献金(約4万円)

●宣教(井上、石井洋)

・2月24日 第五地区リーダー会、サマーキャンプ、運動会の詳細を決める

・湘南キリスト教セミナーについて

講師候補者と調整。

・中高生会 4月土曜日主日のミサ後に進級、進学(新中学生)のお祝い親睦会を予定

・3月20日 教会学校リーダー研修会 参加予定(井上)

●要理(保科)

・2月時点で在籍数20人。4月以降は16人(内3人幼稚園・保育園生)出席表を作成しシールを貼らせるなど工夫する。

・大人の声かけが励みになるので皆さんの声掛けをお願いします。

●建物(福島)

・屋根、トイレ(2F) 修理終了

・復活祭前 窓、床ワックス(業者)3月(第1 or 2週)

・集會室、応接間、新集會室の大そうじ 2月24日(日)

●福祉(中島)

・高齢司祭のための寄付をお届けするバザーの収益の半分をどのように使うか今後も検討していく。

・四旬節の愛の献金の呼び掛けをする

●行事(中村、磯田)

・2月17日引き継ぎ A森田、小野(和)、B永島、C中村、D磯田

・復活祭のパーティーー去年と同様に計画する。

●総務(岩淵)

・新連絡網の情報提供を依頼した。2月末遅くとも3月前半には回収し復活祭の連絡に活用開始する。なるべく無料のメールを選択してください。

・パソコンは届き次第セットアップ

して利用できるようにする。

●広報(今井)

・原稿依頼

●信徒の会(岩淵)

・親睦を目的とし、例えば「なぜ洗礼を受けたか」などをテーマに分ち合って頂き、本当の意味で信徒同志知り合えるような会を持ちたい。参加者が固定化しないよう多くの方に参加してほしい。

■中和田教会災害対策(上野)

・地震対策の基本的事項、支援対策を検討。

・中和田教会は広町自治会の傘下にあるため協力体制が前提。

・避難所として使用可能であることを自治会に伝えるところから始めたらどうか。(大宮)

・日曜のミサ中に地震があるかもしれないので備品は備えた方がよい。(今井)

・今後は震災対策委員会を4、5人で立ち上げていく(上野)

次回委員会 3月10日(日) 以上

教会からのお知らせ

■転入

・ドン・ボスコ タキガワ セイイチ
滝川 清一さん

・アンナ ミヨコ
美代子さん
イタル 至さん

・フランシスコ・アシジ
2月23日付けで中原教会から転入されました。

下和泉(C地区)にお住まいです。
(総務グループ)

上野委員長のコラム

近年当教会においては、信徒数の増加がみられないことや既存信徒の高齢化により年金生活者が増加したことなどから、月定献金総額の低減、口数の減少傾向が見られます。建設献金においても同傾向であります。

教会収入の基盤は何と言っても両献金であります。これらの献金総額を急に大きく延ばすことは難しいと思われ、では少しでも改善する方策は無いのでしょうか。

このことに関して信徒総会においてこれまで気付かなかつた良い提言がありました。多くの方は既に御存知かと思いますが改めて紹介させていただきます。

それは現在、教会に籍はあるが病氣、身体の不自由やその他の事情の為に教会に来られない人がかなりおられる。これらの人達は献金を納めたいと思っても、日曜日に教会に来ないと納められないということもあるのではないかと。これらの人達から献金をいただく方法を考えたら如何かというものであります。(以前、献金の銀行振り込みを検討したことがありましたが、銀行は少数、少額のものには取扱えないとのことでした。)大変良い御意見でありますので委員会で検討致したいと考えています。

最後に書き添えますが、人にはそれぞれに事情というものがああります。あまり厳しくお考え無きようお願いいたします。

以上

